

車ではなく e-bike (電動自転車) で巡る 淀江周辺のサイクリング

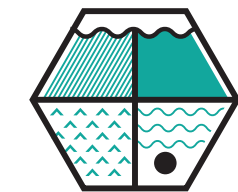


淀江の宿今津田中家には、スポーツタイプの電動自転車 e-bike (以下 e-bike) を5台置いており、宿泊されたお客様などにご利用いただいております。

一般社団法人 Bissuidaisen が2022年5月に実施した「インバウンド対応のモーターリングツアー」や、米子日吉津商工会が9月に実施された「YONAGO サイクルカーニバル in YODOE 2022 (第20回)」に合わせた「インバウンド対応の宿泊モーターリングツアー」などでも宿の e-bike を活用していただきました。

宿泊されたお客様とは、妻木晩田遺跡まで、天の真名井まで、壺瓶山の頂上まで、本宮の泉まで、植田正治写真美術館までなど、その方々の体力やご希望に合わせて、一緒に e-bike サイクリングをしています。またご自身たちだけでも効率的に周れるようにするため、宿独自のクイズラリーMAPを作成し、各所でクイズに答えながらサイクリングを楽しんでもらえる体験もご用意しています。

サイクリングは徒歩よりも軽快に巡れ、季節の風を感じながら、車で通っただけでは見落としてしまう自然や集落の様子をしっかりと見ることが出来ます。黄金に染まった稲穂の中を駆け抜けるツアー、壺瓶山に上り大山から日本海まで360度の景色を鳥瞰するツアー、水源を巡るツアーなどがとても好評です。



よどえのやど
淀江の宿
今津田中家

瓦版

第11号

2024.02 発行

自転車で周る淀江の魅力

ママチャリから e-bike へ

淀江の宿今津田中家のオーナー私田中洋子が2020年5月に淀江にUターンしてから3か月ほどたったある日、米子日吉津商工会の事務長小川直生さんが商工会入会の勧誘のため訪ねて来てくださいました。宿に関する補助金の情報などと共に、「大山時間(だいせんじかん)」鳥取県西部の商工会が結束して鳥取県西部地域の魅力を域内外に発信するプロジェクト」が取り組んでおられる「サイクルガイド養成講座」へのお誘いも戴きました。

「ママチャリしか乗ったことがありませんし、ロードバイクの人達と一緒に走るなんて無理です。」

「電動自転車 e-bike のレンタルが可能ですので、大丈夫です。是非参加してください。」

その言葉に押されて参加することとなり、まずは9月に座学を受講しました。講師は、株式会社 ARCH HERO HOKKAIDO の高橋幸博さんで、2回の座学を受けて、「交通の便が悪いこの地域にサイクリングはとてもいいかも」と思うように



なり、その後10月の実技(日南町を巡る約20kmのコース)で、スポーツタイプの e-bike に初めて乗りました。ママチャリしか経験の無かった私でもロードバイクの人たちと一緒に走れて、坂道も楽々、20kmの距離がとても楽で、里山の風を感じながら地元の方々との触れ合いもあり、とても素敵な体験となりました。11月の実技は、地元淀江での初サイクリング。弓ヶ浜、天の真名井、本宮どんぐり村、森の国の約28kmのコースを e-bike で走り、坂道でその威力を体感し、e-bike で周る淀江の楽しさを体感しました。

その経験から、2021年の春に e-bike を1台購入し、軽トラに積みこんで、琴浦町・南部町・江府町・伯耆町といった場所での「サイクルガイド養成講座」にも参加し、e-bike サイクリングの魅力をぜひ宿の宿泊者にも体感していただくことと徐々に台数を揃えていきました。

私のようにママチャリしか乗ったことが無い・・・という皆様もぜひ e-bike サイクリングをご体感ください。



サイクルコース

※淀江の宿今津田中家は、鳥取県版サイクリスト支援体制「ダイジョウブシステム」の「鳥取県サイクリストに優しい宿」「サイクルカフェ」の認定を受けております。サイクリストの方々もお気軽に施設をご利用ください。

■基本コース

雄大な名峰大山（だいせん）、対岸に弓ヶ浜半島や島根半島などの島なみが見える日本海をフロントやバックに臨みながら、6000年以上前から人が住み続けている集落や史跡湧水などを巡るコースです。

自転車にずっと乗っておらず、坂道をeバイクでも上る自信のない方は、まずは「天の真名井」に上る坂は遊歩道を徒歩で上る、360度の景色が鳥瞰できる「壺瓶山」を上るのをやめて壺瓶山の麓を周遊...という形でサイクリングにチャレンジしてみてください。

今回は淀江の宿今津田中家を起点にして「鳥取うみなみロード」から少しはずす、淀江の町や山あいに入るコースをご紹介します。

淀江の宿 今津田中家～上淀白鳳の丘（かみよどはくほうのおか）展示館～天神垣（あめのかみがき）神社 及び、神社内にある国指定重要文化財石馬（いしうま）～国史跡 上淀廃寺（かみよどはいじ）跡～絵画土器 角田（すみだ）遺跡～天の真名井～壺瓶山（つぼかめやま）～日吉神社～淀江和傘伝承館～淀江港～メイちゃん農場～淀江の宿 今津田中家（14.4km）

昼食例：淀江ゆめ温泉・真名井ばあちゃんのせせらぎレストラン・ひの木家・ラーメン悟空・みどり寿司・韓国料理約束



植田正治写真美術館
老若男女満足度がとても高い！

植田正治は世界で最も注目された日本人写真家のひとり。建築家・高松伸設計による館内からは水面に映る“逆さ大山”が楽しめる。

本宮の泉
1日3万トンの水量を誇る湧水

観光客が訪れる人気の湧き水で、鳥取県の「因伯の名水」にも指定されている。鳥取県西部で唯一、亜熱帯植物「クリハラン」が自生。

むきばんだ遺跡
雄大な絶景ポイントがある国史跡

国内最大級の弥生時代の集落遺跡。鳥取県立むきばんだ史跡公園で遺跡を保存・復元公開。竪穴住居や高床倉庫・墓、遺構展示館などがある。

オプションコース
いずれも勾配のある坂道を含む

■上淀廃寺周辺

日本最古級の彩色仏教壁画片を出した「上淀廃寺(国史跡)」周辺には、国史跡の向山(むこうやま)古墳群、国指定重要文化財の石馬(いしうま)を保管している天神垣神社(あめのかみがしんじや)、縄文時代から続く淀江平野の歴史の変遷と遺物を見ることが出来る「上淀白鳳の丘展示館」、ハス園がある「伯耆古代の丘公園」、淀江ゆめ温泉などがあります。



石馬



上淀廃寺

■天の真名井周辺

「天の真名井」とは、高高原にあるとされる神聖な井戸のことで、古来清らかな水に与えられた最大級の敬称です。この湧水から流れる泉川下流の田の角田(絵画土器)や河原田からは弥生時代の遺跡が発掘されており、この水が原始時代の人たちの生活と土地開発の源であったことを物語っています。近隣の他の湧水地や遺跡なども巡ってみてください。



角田遺跡



天の真名井

■壺瓶山周辺

「壺瓶山」は標高113.7mの低い山ですが、想像以上に続く山頂までの坂道はeバイクでもきつ々しく、上りきった後は達成感があります。中腹から続く茶畑、日本海や大山を360度見渡すことができる山頂をお楽しみください。麓には、いくつかの湧水地、境内に踏切がある「日吉神社」などがあり、情緒残る淀江の町並みの中を駆け抜けて宿に帰ることができます。



日吉神社



壺瓶山

■きままに散策

淀江の宿今津田中家のすぐ近くには日本海があり、海沿いに走っていくと、対岸に弓ヶ浜半島(皆生や境港)、島根半島(美保関)、天気のいい日は遠くに隠岐の島を見ることが出来ます。海風がきつい時もありますが、ぜひ自転車で行ってみてください。

■海のプログラム(SUP・カヤック等)との組合せ

Bisuidiasenが2022年10月に実施した県内の高校向けの修学旅行では、サイクリングとSUPの組合せのメニューを提供。淀江ゆめ温泉にある電動ママチャリ自転車20台も活用し、「淀江ゆめ温泉」天の真名井「壺瓶山」淀江港のサイクリング、もう半分は淀江港でSUPを行い、その後は入れ替わりで、SUPをやったメンバーが逆ルートでサイクリング、サイクリングで淀江港に来たメンバーがSUPを体験するツアーを行い、1日40名×2日間で計80名の方に淀江でのサイクリングとSUPを体験していただきました。

このような海のプログラムとの組合せなども可能ですので、ご相談ください。

■軽トラでの運搬・サポート

その他にも、白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコースで皆生〜境港までサイクリング、島根県(美保関・松江・出雲など)へ足を延ばす、うみなみロードで鳥取県中東部へ向かう、大山周遊で坂道を堪能・・・など、様々なサイクリングが可能です。軽トラでの自転車の運搬やサポートカー同行などの支援もできますので、お気軽にお問い合わせください。

お得な特典たくさん!
淀江の宿今津田中家
会員募集

年会費
2,000円

会員特典

- 毎月1回 瓦版など印刷物の郵送
- 毎月1回 各種割引券 (飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)
- お米1升(約1.5kg) プレゼント(きぬむすめ or もち米) ※11月以降 当宿にてお渡し



連載「淀江プロジェクト」物語 [第十話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第10話：どんどん進む片付け、古文書・跳び箱が出てきた！

第2弾は10名が集結！

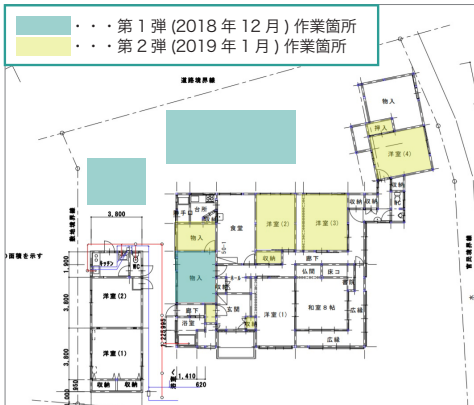
2019年1月22日〜23日の2日間、大阪・奈良・兵庫・鳥取県の浜村・米子などから10名のメンバーが田中家に集結！

2018年12月の
第1弾にも来てくれた5名

第2弾から参加の5名

- 姐さん（サハラクミコ）さん
- しょうきち（野崎将太）さん
- 翔太郎（宮原翔太郎）さん
- ゆってい（河津優平）さん
- 俺ロック（松尾隆志）さん
- ★ 関西（大阪・奈良・神戸）から
- 奥井 希さん（前田文化）
- 羽瀨 正樹さん（大工）
- 河合 勇太郎さん（パーリー建築）
- 中土 喜博さん（空気職人）
- ★ 浜村から
- 嶋田 和史さん（パーリー建築）

の総勢10名で、屋根裏部屋、母屋の3部屋、そして様々な物入にある気の遠くなるような多くの荷物の数々を一気に片づけてくれた。



手伝いますから、一緒にやってみましょう！

どの部屋も足の踏み場が無いほど、物で溢れかえっており、役割分担し、米子市の厳しい可燃不燃の決まりを確認して仕分けしながら、手際よくどんどん片づけが進んでい

き、2日間で、見違えるように物がなくなっていく。母屋の洋室2室は、父母の物が溢れていて、洋子が確認しながら少しずつ片づけようと思っていたのだが、希さんが「私たちが手伝いますから、一緒に片づけてしましましょう。洋子さんはどんどん私たちに指示を出してください。」と声をかけてくれ、予定外の速さで広い範囲の片付けが進んでいった。

片付けをしながら、いろんな思い出がよみがえってくる。一緒に片付けてくださったメンバーも、出会ったことのない洋子の父母・祖母・そして洋子や弟衆の小さい頃の作品・・・に触れて、親近感を持ち、思い出を共有してくれて、食事や休憩の時間にはその話題でも盛り上がった。とてもとても気が重かった片付けが、一気に楽しい片付けに変わった第2弾だった。

締めくくりは跳び箱で。

屋根裏からは、古文書の入ったいくつかの箱・スキー用品・卓球台・跳び箱・2段ベッドなど、「父母が狭い梯子をかけて上るしかない屋根裏によく上げられたなあ」と思うような大きなものがたくさん出てきた。



洋子と衆が小学生の頃、父が跳び箱と鉄棒を購入してくれて、母屋で使って友達ともよく遊んでいた。鉄棒はどなたかに譲ったようで、出てこなかったが、洋子が中学生の受験期の息抜きの時間に、家族で毎晩のように離れに置いて使っていた卓球台も見つかった。片付けが終わった23日の夕方、締めくくり、屋根裏から出てきた跳び箱を皆が跳んで、第2弾は完了！

— 第十一話に続く —

作者・田中 洋子

㈱ウオリス代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてリターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語

「第10話」



ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家

〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1
TEL : 0859-30-3889
www.imazutanakaya.com



今後はLINEを始め各種SNSにて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE 公式アカウント

お店のポイントが貯まる！

